

風しん

千葉県では2008年10例、2009年11例、2010年7例、2011年7例、2012年113例、2013年711例、2014年17例、2015年16例の届出があった(図3)。2012年から2013年にかけて届出が多かった。風しんに関する特定感染症予防指針では、平成32年度(2020年度)までに風しんの排除を達成することを目標としている。そこで2015年1～53週に届出された16例の発生状況をまとめた。

図3 2008年～2015年千葉県の風しん届出数 892例

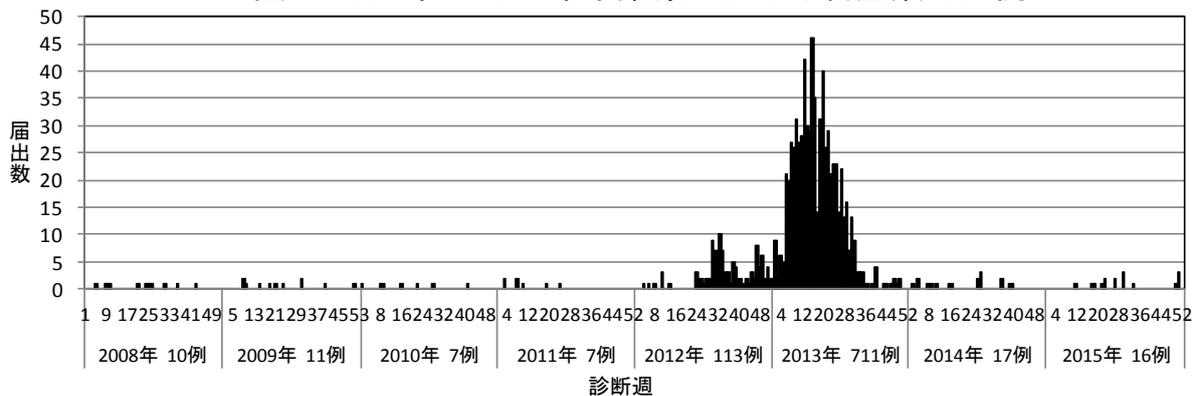


表3 2008年～2015年千葉県の風しん年別・性別・年齢群別届出数

	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計		
	届出数	%	届出数	%															
性別																			
男性	5	50.0	4	36.4	4	57.1	5	71.4	85	75.2	575	80.9	7	41.2	10	62.5	695	77.9	
女性	5	50.0	7	63.6	3	42.9	2	28.6	28	24.8	136	19.1	10	58.8	6	37.5	197	22.1	
年齢群別																			
0歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	0.8	1	5.9	2	12.5	9	1.0	
1～4歳	3	30.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	6	5.3	17	2.4	0	0.0	6	37.5	33	3.7	
5～9歳	0	0.0	0	0.0	2	28.6	0	0.0	3	2.7	11	1.5	2	11.8	2	12.5	20	2.2	
10～14歳	1	10.0	4	36.4	2	28.6	1	14.3	3	2.7	10	1.4	1	5.9	1	6.3	23	2.6	
15～19歳	2	20.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	7	6.2	41	5.8	2	11.8	0	0.0	53	5.9	
20代	2	20.0	1	9.1	1	14.3	2	28.6	38	33.6	178	25.0	3	17.6	1	6.3	226	25.3	
30代	1	10.0	0	0.0	1	14.3	3	42.9	24	21.2	209	29.4	5	29.4	3	18.8	246	27.6	
40代	1	10.0	3	27.3	1	14.3	0	0.0	24	21.2	165	23.2	3	17.6	0	0.0	197	22.1	
50代	0	0.0	1	9.1	0	0.0	1	14.3	7	6.2	63	8.9	0	0.0	0	0.0	72	8.1	
60代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9	11	1.5	0	0.0	0	0.0	12	1.3	
70代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
80代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.3	1	0.1	
合計	10	100.0	11	100.0	7	100.0	7	100.0	113	100.0	711	100.0	17	100.0	16	100.0	892	100.0	

表4 2008年～2015年千葉県の風しん年別・保健所別届出数

保健所	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
習志野	0	0	4	0	15	76	1	0	96
市川	1	0	1	1	38	106	4	5	156
松戸	2	0	0	0	4	41	0	1	48
野田	0	0	0	0	1	11	0	0	12
印旛	1	1	0	2	6	43	1	3	57
香取	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海匝	0	0	0	0	0	4	0	0	4
山武	0	0	0	0	3	8	0	2	13
長生	0	0	0	0	1	4	0	0	5
夷隅	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安房	0	0	0	1	0	9	0	0	10
君津	1	0	0	0	5	20	0	0	26
市原	2	0	0	0	2	15	0	0	19
千葉市	1	3	2	2	20	219	3	4	254
船橋市	0	7	0	0	9	96	7	1	120
柏市*	2	0	0	1	9	59	1	0	72
合計	10	11	7	7	113	711	17	16	892

※2008年3月31日までは柏保健所

保健所別では、市川5例、千葉市4例、印旛3例、山武2例、松戸1例、船橋市1例であった(表4)。

性別は、男性10例(62.5%)、女性6例(37.5%)であった(表3)。

年齢群別では、5歳未満が8例で50.0%を占めた(表3)。

病型別では、臨床診断例12例(75.0%)、検査診断例4例(25.0%)で、2014年以降臨床診断例の割合が増加している(図5)。

症状等は、発疹16例(100.0%)、発熱16例(100.0%)、リンパ節腫脹14例(87.5%)、関節痛・関節炎1例(6.3%)、その他(肺炎)1例(6.3%)であった(複数報告あり)。

診断方法は、臨床決定12例(75.0%)、血清IgMの検出3例(18.8%)、分離・同定による病原体の検出1例(6.3%)、ペア血清での抗体の検出1例(6.3%)であった(複数報告あり)。

推定または確定された感染地域は、千葉県13例、都道府県不明3例であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、接種1回有り1例、不明9例、接種なし6例であった(図4)。

図4 2015年千葉県の風しん週別・ワクチン接種歴別届出数 16例

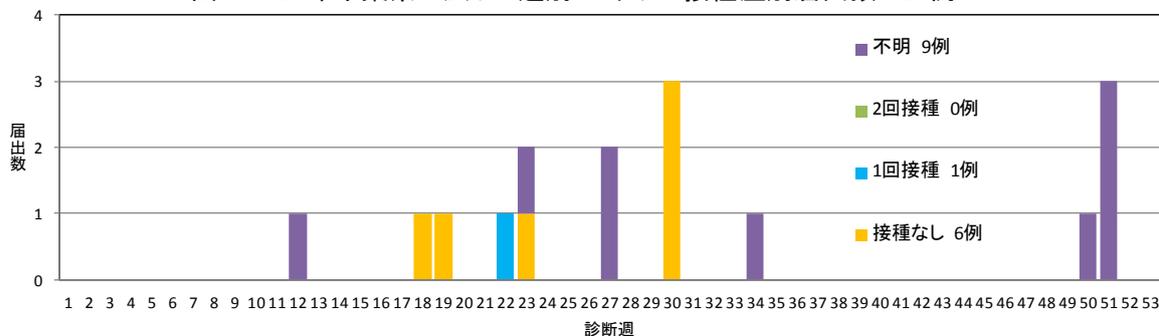


図5 2008年～2015年千葉県の風しん 年別・病型別届出割合

